



日本共産党

いぬい紳一郎の 市政だより

流山市議会議員

2015.10.8 NO.69

平和と立憲主義への態度が問われた9月議会

9月議会は、参議院で戦争法案（安保法制）の審議がいよいよ大詰めとなる中で開催されました。国会前をはじめ全国2000か所以上で150万人の市民がデモに参加し、流山市内でも、9月9日・12日には、集会やパレードが行われるなど、世論が大きく沸き立つ中、この問題を取り上げて市長や各議員に迫ったのは日本共産党だけでした。

「立憲主義国家にふさわしく」と市長が意見表明

一般質問では、「世論の反対が強い中で、今国会での強行採決はやるべきではないと思うが、市長はどう考えているか」との私の質問に、井崎市長は「立憲主義国家にふさわしい意を尽くした審議や討論を通じて国民への説明責任を十分に果たされるべき」と答弁しました。直接、強行採決をすすめようとしていた与党を批判したものではありませんが、「立憲主義を守るべき」という市長の思いが語られました。

議会は「安保法案の廃止を求める意見書」を否決。

民意に背を向ける流政会（近藤議員は除く）、自民党、公明党

議会では、共産党が提出した「安全保障法案の廃止を求める意見書」について最終日の10月6日採決が行われました。本会議では、私が意見書の提案者として「19日に法案は成立したが、国民の批判は強く、いまなお国政の重要問題です」と説明、賛同を求めました。採決の結果、賛成：11、反対16で否決されました。

この問題では、反対したベテラン議員の中から「なんで反対するのかと市民に良くいわれるんだよ」とボヤキも聞こえてきています。

賛成議員：共産党（いぬい、小田桐、徳増、植田）、新風流山（藤井、森田、西川、楠山、西尾）、社民（阿部）、流政会（近藤）

反対議員：流政会（森、青野、笠原、石原、坂巻、大塚、野田）、自民党（根本、中川、中村、加藤）、公明党（秋間、斉藤、野村、戸辺）、会派に所属しない議員（菅野）

「流山民報」号外 発行：日本共産党いぬい紳一郎事務所

問い合わせ・連絡先 04-7150-6099 流山市議会事務局（政務活動費使用のルールが変更され、市議への直接の連絡先を表記できなくなりました。日本共産党は是正を求めています。）



戦争法の廃止を！市民運動を継続

戦争法（安保法制）の成立をうけて、「戦争法案の廃案を！」と運動してきた各市民団体は、「戦争法の廃止を！」という形で運動を継続させることを表明しています。

「憲法こわすな・戦争させるな!流山連絡会」が 10月19日(月)に宣伝行動

流山では、この間集会や宣伝行動を行ってきた「憲法こわすな・戦争させるな!流山連絡会」が10月19日(月)午後4時~5時に流山おおたかの森駅にて宣伝行動を行います。今後も月一回程度の宣伝行動を行っていく予定です。

総がかり行動実行委員会は毎月19日 に国会前行動を呼びかけ



毎月19日は、国会前に集まろう！

9月19日未明、雨の国会周辺を取り巻く多数の市民が叫ぶ「戦争法案廃案！」のコールのなか、参議院本会議で安倍政権と与党自民党・公明党などによる戦争法制の強行採決が行われました。しかし、強行採決されたとはいえ、私たちの「戦争反対！」の闘いは終わらず、ひきつづき毎月「19日行動」として継続されます。私たちはあきらめません。再度の結集を呼びかけます。国会正門前へ！

日時:10月19日(月)18:30~

場所:国会議事堂正門前

呼びかけ:戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会